

# YPUドリームアドベンチャープロジェクト2014

現在、以下のプロジェクトが活動しています。

## ◎A部門

<p>☺ ウリチング ☺ ~日韓清掃交流プロジェクト~ 文化創造学科 岩佐 知香</p>	<p>日韓をまたぐ海で清掃活動を行った報告会(環境フォーラム)を開き、環境問題について日本と韓国でお互いに考える場を設け、日韓の友好的な関係を築く。報告会は一般公開もするため韓国人学生と地域の人との交流の場を提供することが出来る。韓国人学生には事前にアンケートを実施しており、集計結果から日本と韓国の意識の比較をし、フォーラムに繋げる。</p>
<p>東北復興支援プロジェクト“ツナグ。” 社会福祉学科 佐藤 果奈</p>	<p>昨年度同様、道場門前商店街の方々とチームを組み、商店街イベントと結人祭、学祭で東北の郷土料理をふるまったり、3年経った今の東北へのメッセージをかいてもらい、山口での東日本大震災の風化防止に努める。また、同時に震災についてまとめたパネルの展示を行って現在の東北の現状について知ってもらい、被害に苦しむ子どもたちへの募金活動を行う。</p>
<p>行きつけ発掘プロジェクト in宮野 文化創造学科 石井 七海</p>	<p>宮野地域には魅力的なものがたくさんあるにもかかわらず、地域のことを知らないがために人々は宮野の外で活動することが多く、宮野地域での人々の交流が少ないことを大変残念に思います。そこで、宮野に住んでいる人々が見逃してしまうような魅力を、宮野の外から来た私たちが客観的な視点で発見・創造し、それを冊子にまとめることで多くの人々に知ってもらおうと考えました。宮野地域で自分だけの特別な場所を見つけるきっかけにもなると考えます。</p>
<p>内から外からYPU通信簿 国際文化学科 鱒坂 舞</p>	<p>山口県立大学という大学が、現在実際に働く職員、教員、在学生たちだけではなく、周囲の人たちからどう思われているのか、要望は無いのかを明らかにする。また、大学内で行われている行事、文部科学省の方針なども調査することで、アンケートから見える大学の実態と見比べてみて改善する点はないか、新しく作ることはないかなどを学生目線で見つけ出すことを目的とする。</p>
<p>SWEETS PROJECT 栄養学科 野田 清未</p>	<p>栄養学科の強みである臨床栄養学分野等の知識や経験を活かして、血糖コントロールを必要とする糖尿病患者向けの80kcalでボリューム感があり満足感を得ることのできるお菓子を開発する。</p>
<p>“大学サミット”実行プロジェクト 文化創造学科 河島 舞</p>	<p>山口市付近には今現在4つの大学・短大が存在していますが、学生同士の交流があまりないことを残念に思っています。そこで私たちは「大学サミット」という名の会議を学生同士で行い、連携して各団体並びに行政機関等に学びやイベントの提言をしていきたいと考えています。会議の内容としては、日常不便に感じている公共交通機関のダイヤの整備についてや共同就職セミナーの開催、有名カフェ店等誘致のためには、などを予定しています。また、留学生と餃子等を作りながら異文化を体感し、グローバルな視点を養うという取り組みも考えています。</p>

## ◎B部門

<p>地域につながりをもたらす 「犬カフェ」プロジェクトアドバンス 文化創造学科 加藤 史織</p>	<p>本プロジェクトでは宮野の地域活性化を目的とした「犬カフェ」イベントを開き宮野地域のつながりを深めようと考えたものである。大学生から発信することで、地域同士だけでなく大学と地域の交流の場を提供できる。2013年度に地域交流センターの協力の下、試行的に実施し、宮野地域の皆さんに大変喜ばれた。昨年の反省を生かし、今回は犬を飼っていない人でも来て楽しめるようカフェテリアの充実やイベント内容の充実(ベンチ作成、犬の撮影ブース設置、里親情報の掲示等)、犬と一緒に散歩をするベストお散歩コースの提案、マップ作成等を行う。昨年実施した「人も犬も食べられるお菓子」の新たな提案や、地域の方の笑顔と愛犬の写真を使用したコラージュボード・アルバム・ポスター作成を行い宮野駅などに掲示することで、単発的なイベントで終わらせず、“つながり”を目に見えた形で残す。</p>
--	---